

2023年度

二チイキッズ美濃加茂保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月10日（水）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月22日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	<ul style="list-style-type: none">○自然の中での活動を多く持つ中で変化に気づいたり、関心を示す姿があった。また自然物に触れるなどの体験をしたり、体を十分に使う機会を持つことができた。○保育に必要な備品や玩具を整備し、必要なものを揃え環境を整えていく。
子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none">○全職員が会議等で子どもの特徴などの情報を共有し、どの職員も同じ対応ができるように配慮した。しかし、配慮が必要な場面や支援も時と共に変化していくので、継続的に話し合ったり、学びの場を持つ必要がある。
保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none">○毎月参観週間を設定し、普段の子どもの様子を見たり知ってもらえる機会を多く持つことができた。○園日誌や伝言メモ等で情報を共有することで、クラス担当以外の子ども様子も伝達したり尋ねたりすることができ、安心感につながっていると考えられる。○保護者同士をつなぐ場の設定にまで至らなかったため、次年度は最重要課題とする。
保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none">○リーダーを中心に子どもを主体とする保育体制の見直しなどに柔軟に対応してきた。○園内研修を充実させ、専門性を深める学びの場を作っていく。○近隣住人との交流や不審者対応の想定基準の見直し、交通安全等警察署との連携をしていく。

総評
自施設で今でき得る子どもにとっての最善を職員全体で考え、試行錯誤しながら実行に移していくことができた。保育者間で相談しやすい雰囲気があり、子どもの対応についてなど話し合う場を持ち、細やかな配慮ができるようになってきた。全体で情報共有を行うことで状況等を把握することはできるようになっているが、対応の仕方や後追いなどについて考察や意見を交換する場を定期的に持ち、さらに深めていきたい。